

福井市天池町で採集したイトトンボ類の斑紋変異

長 田 勝*

イトトンボ科のトンボは、「鮮やかな色彩に斑紋のある種類が多く、大半はそのカラフルな色彩や斑紋の特徴によって種類を識別できる。また、♀には異なった2種以上の色彩・斑紋をもった個体群が存在する、いわゆる多型のみられる種類もいく種類か知られている」(石田昇三ほか, 1988)。

通常、色彩や斑紋はほぼ安定していることから、種を識別する際の手がかりとして検索図でも広く用いられている。しかし、時として検索図に示された特徴から外れてしまう変異があり、検索図の区別点を鵜呑みにすると誤った同定結果を導いてしまうことになる。

昨年、福井市天池町で採集したイトトンボの中に、このような変異のみられる個体が含まれていたため、斑紋変異の一例として報告する。天池町の産地は九頭竜川右岸の河川敷にある溜りで(メッシュコード: 5436-1117, 5436-1127)、1997年9月24日と9月29日に採集を行なった。

1. アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer [図1・2]

石田昇三ほか(1988)による「日本産トンボ幼虫・成虫検索図説」(以下、「検索図説」と略す)では、アオモンイトトンボ属とオガサワライトトンボ属の区別点として翅胸側面の線状斑紋(前翅基部と後翅基部のほぼ中間の後胸上部にある斑紋)の差異が示されている。斑紋が線状であれば前者、斑紋の先が細まるのが後者である。

9月24日に採集した2♂のうち、1頭の斑紋は先が細まる長三角形で、「検索図説」によるオガサワライトトンボ属の特徴を呈している。ただし、第2側縫線の黒条はオガサワライトトンボ属のように顕著にはならない。アオモンイトトンボでは線状斑紋が線状であるが、アジアイトトンボでは線状斑紋の先が細まる傾向がみられる。

オガサワライトトンボ属 *Boninagrion* は小笠原諸島特産のオガサワライトトンボ1種だけからなる属で、アオモンイトトンボ属にきわめて近く、研究者によっては独立属と認めずオガサワライトトンボをアオモンイトトンボ属に含めることもある。いずれにしても、ここに報告した個体のような顕著な斑紋はオガサワライトトンボとの類縁性を彷彿させる点で興味深い。

2. セスジイトトンボ *Cercion hieroglyphicum* (Brauer) [図3・4]

「検索図説」によればクロイトトンボ属5種を検索する際、後頭条の有無が最初のkeyとなる。つまり、後頭条がないのがクロイトトンボ、ムスジイトトンボ、後頭条があるのがオオイトトンボ、セスジイトトンボ、オオセスジイトトンボである。

* 福井市自然史博物館 (〒918-8006 福井市足羽上町 147)

9月24日に採集した11♂3♀は、♀はすべて「検索図説」の検索図のように後頭条があるが、♂では後頭条があるのは1頭のみで、残りの10頭のうち、2頭は微かに出現し、8頭は後頭条が全く出現していなかった。

セスジイトトンボで後頭条が消失した個体は、ムスジイトトンボと誤認しやすいので注意が要する。♀の場合は前胸背後縁が湾入するか否かで両者を明確に区別できるが、♂の場合は尾部付属器の形状に留意して同定する必要がある。また、和田（1997）が指摘しているように、後頭条が消失した個体は斑紋がおおむね黒化する傾向があり、翅胸の肩黒条中にある淡色の線状紋が消失あるいは微かに現われる程度の個体が多くみられる。

3. アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* (Rambur) [図5]

本種の♀は、♂と同様な体色・斑紋をしている同色型と、♂の体色・斑紋とは異なる異色型の2型が知られている。

9月24日に採集した1♀と9月29日に採集した2♀は、いずれも同色型であった。アオモンイトトンボは福井県嶺北地方においては必ずしも普遍的にみられる種とはいえないが、和田（1997）は福井市両橋屋町、三国町加戸、芦原町北潟、芦原町赤尾、三方町中山などの採集記録を報告している。それによると、♀の採集頭数に占める同色型の比率は11頭中9頭と高く、本県に産する♀は同色型が普通に出現するといえるようである。

引 用 文 献

- 石田昇三・石田勝義・小島圭三・杉村光俊. 1988. 日本産トンボ幼虫・成虫検索図説. 140pp., 72pls., 105 figs. 東海大学出版会.
- 和田茂樹. 1997. 1997年に福井県で採集したトンボ類. 福井市自然史博物館研究報告, (44): 65-76.

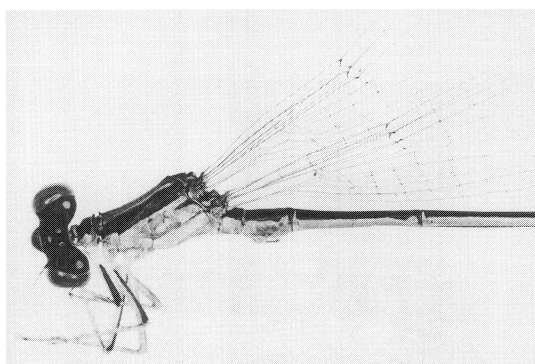


図1 アジアイトトンボ♂
(線状斑紋が長三角形の個体)

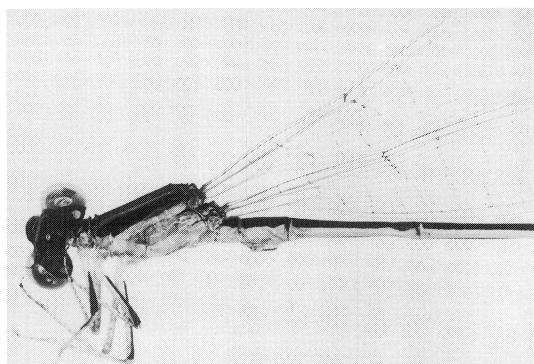


図2 アジアイトトンボ♂
(通常の個体)

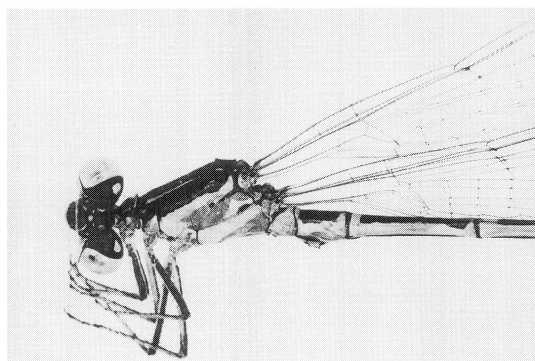


図3 セシイトトンボ♂
(後頭条が消失した個体)

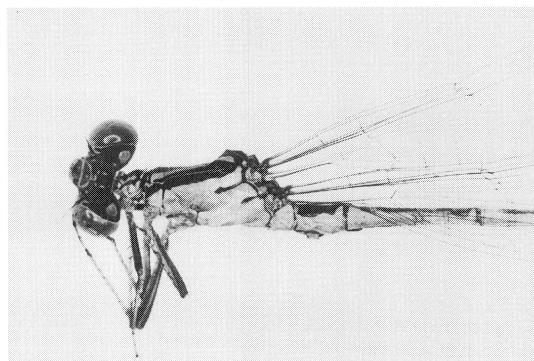


図4 セシイトトンボ♂
(後頭条のある個体)

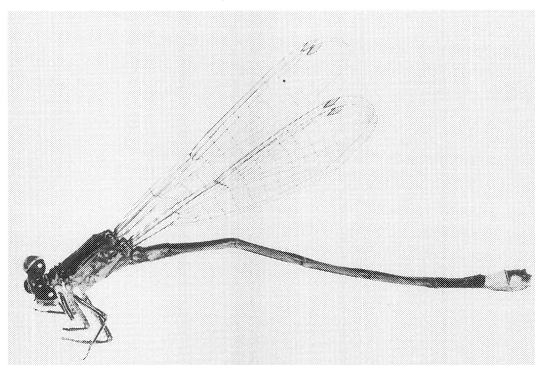


図5 アオモンイトトンボ同色型♀